

ご意見・ご要望		投稿日	平成29年4月5日
件名	防災リーダーのあり方。存在意識。		
本文	<p>昨年11月27日に防災リーダーフォローアップ研修を受けて非常に良かった。学校も巻き込んだ地域防災づくりに感銘した。防災リーダー研修、会議など地区に分けて取り組んでもらいたい。地形的な災害に応じた対応があると思います。防災リーダーについては、市民にあまり周知されていないので存在を示す出番をつくってください。防災訓練だけでなく、ユニフォームの着用も検討してください。</p>		
回答		回答日	平成29年4月11日
担当部署	市長直轄組織 危機管理室 防災企画課		
本文	<p>ご本人に電話で説明。</p> <p>防災リーダーは、平成24年度の制度創設から現在までに、788名の方が登録されており、自主防災組織に対し、研修会で習得した知識や技術等の普及に努めることや、災害発生時における初期消火活動、救出救護活動及び避難所運営等の災害応急活動の中心的な役割を担うこととしております。</p> <p>しかし、防災リーダーの知識と技術の維持が課題となっていることから、昨年11月に「甲府市防災リーダーフォローアップ研修会」を開催したとこれでございます。</p> <p>お問い合わせいただきました、防災リーダーのあり方につきましては、訓練などで各自治会と連携し、積極的に起用していただくため、毎年各自治会に登録者名簿を送付し、周知しておりますが、避難所運営において管理運営等を円滑に進めるため、各避難所の運営委員会は重要な役割を担うことから、委員会の構成表に防災リーダーの位置付けを行っております。</p> <p>また、各地区のブロックに分けた研修会等の実施やユニフォームにつきましては、今後防災リーダーの活用方法等を検討する中、調査、研究してまいります。</p> <p>なお、今年度より地域防災力の向上のため、市内520の全自治会を対象に地域の特性に応じた防災講話や、地域防災マップの作成等を行う防災研修会を開催いたしますので、各自治会に在籍する防災リーダーに参加いただけるよう、周知を行ってまいりたいと思います。</p>		